

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道52号上石田改良 ^{かみいしだかいりょう}	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局	
起終点 自：山梨県甲府市富竹一丁目 ^{やまなしけん こう ふ し とみたけ} 至：山梨県甲府市寿町 ^{やまなしけん こう ふ し ことぶきちょう}	延長			1.0 km	
事業概要 国道52号は、静岡県静岡市から山梨県甲府市に至る幹線道路である。上石田改良は、甲府市内を流れる荒川や貢川に架かる橋の架け替えや4車線化による交通円滑化、拡幅・線形改良と歩道設置による交通安全性の向上、沿道環境の改善を目的とした、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町までの延長1.0 kmの4車線の拡幅事業である。					
H8年度事業化	S21年度都市計画決定 (S43年度変更)	H16年度用地着手	H17年度工事着手		
全体事業費	約138億円	事業進捗率	74%	供用済延長	0.0 km
計画交通量	20,000～27,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 5.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 33/145億円 事業費：29/141億円 維持管理費：4.7/4.7億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 184/184億円 走行時間短縮便益：141/141億円 走行費用減少便益：36/36億円 交通事故減少便益：7.6/7.6億円	基準年 平成22年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量：B/C=5.4～5.7（交通量±10%） 事業費：B/C=5.1～6.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=5.1～5.6（事業期間±20%）					
事業の効果等 (1) 交通混雑の緩和 ・上石田改良区間の損失時間は全国平均の約10倍（上石田改良区間：195.5千人時間/年・km、全国平均：20.3千人時間/年・km）。 ・改良整備により渋滞が緩和し、スムーズな通行が見込まれる。 (2) 安全安心な通行の確保 ・上石田改良区間の平均死傷事故率は全国平均の約3倍（上石田改良区間：278.4件/億台キロ、全国平均102.6件/億台キロ）。 ・上石田改良区間の事故類型は、渋滞が一因である追突事故が約5割発生。 ・改良整備により、渋滞が緩和し、事故の減少が見込まれる。 (3) 沿道人口の増加および商業施設の立地 ・線形の悪い道は見通しがききにくく、ドライバーも歩行者も通行に支障。 ・歩道の未整備が一因となり、人・自転車が被害者の死傷事故件数は山梨県直轄国道平均の約8倍。 ・歩道や自転車道が整備されることで、安全性の向上が見込まれる。					
関係する地方公共団体等の意見 山梨県知事の意見：一般国道52号上石田改良は、拡幅・線形改良と歩道整備により、甲府市街地の交通渋滞の緩和や交通安全の確保が図られるとともに、中心市街地へのアクセス強化、地域の活性化に寄与することから、早期の完成をお願いします。					
事業評価監視委員会の意見 事業の継続を承認する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 隣接する国道52号寿町拡幅がH16年度に完了。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成17年度より橋梁工事に着手し、平成21年度に仮橋への交通切り回しを実施。引き続き、全線4車線化に向けて事業を進める。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 甲府市上石田1丁目から寿町区間（L=0.75km）の用地取得は100%完了。全体としての用地取得は67%完了。引き続き、全線4車線完成に向けた事業促進を図る。					
施設の構造や工法の変更等 荒川橋の構造を鋼2径間連続箱桁橋からPC3径間連続中空床版橋への見直しにより、事業費を約3億円縮減。					

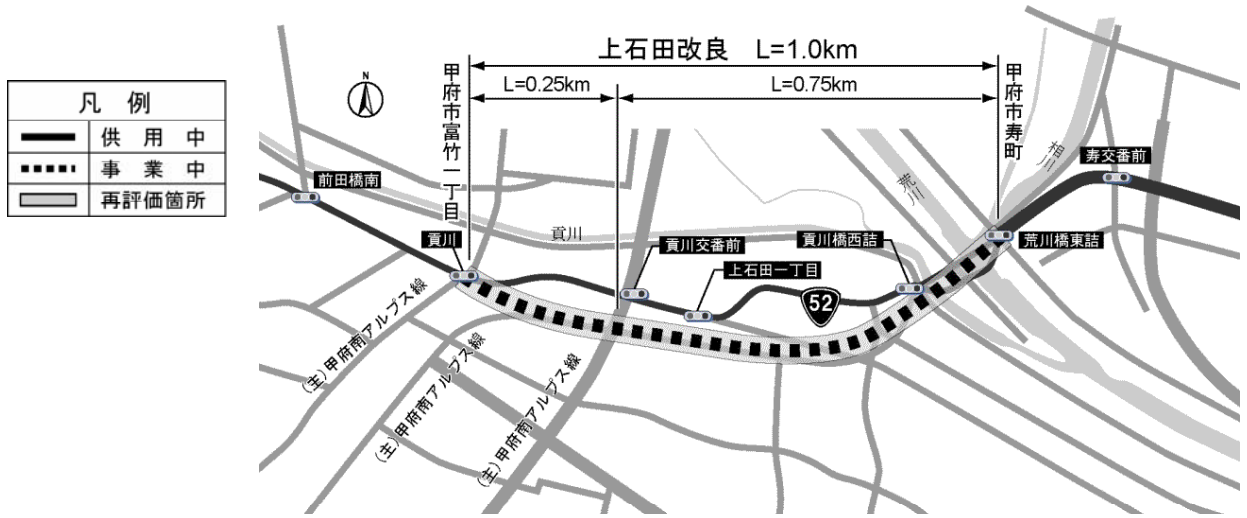
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、コスト縮減の内容、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。